

# 関西支部 LMAG ニュース

—第 11 号—

2018 年 5 月発行

IEEE 関西支部 LMAG

Secretary 森田 修三 (文責)

## 目次

- ・ LMAG (Life Members Affinity Group) とは
- ・ 1 小林 Vice-Chair からのメッセージ
- ・ 2 2017 年活動報告

### 前号以降のトピックス

国立国会図書館関西館にて現地講演会を開催しました。  
関西支部の技術講演会が第 100 回に到達しました。

### その他一般的な活動報告

- ・ 3 2018 活動計画と活動中間状況

テクニクスブランド復活現地講演会を開催しました。  
ハーモニカ、ドラム演奏の LMAG サロンを開催しました。  
土佐先生の技術講演会を開催しました。

- ・ 4 IEEE 関西支部の現況



## LMAG (Life Members Affinity Group) とは

経験豊かなライフ会員の更なる能力向上、社会貢献、相互交流などを通じた会員の意見吸収・便益向上、IEEE 活動への寄与、などを目的に支部内におかれるローカルなユニットです。

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group (関西支部 LMAG) は、本部への申請によって 2012/6/18 付けにて東京支部について日本国内で二番目に設立されました。関西支部 LMAG は終身会員の資格を持つ関西支部会員全員で構成され、支部内の他の委員会と同様の位置づけで活動しています。

2018 年の関西支部 LMAG メンバーは 156 名 (LF48, LS24, LM84 名) となっています。

### 1 小林 Vice-Chair からのメッセージ

～ライフ会員の二つの恩恵～

“affinity group” の訳語を Web 辞書で探すと直訳調の「類縁集団」やカタカナ語の「アフィニティー・グループ」が見つかります。いずれも馴染みの薄い言葉ですね。辞書にはその意味が「直接行動で共に行動する少数の活動家の、小さな集団」と出ています。一方、LMAG を一言で説明したいとき、Chair をはじめ Officers 仲間では、“Affinity Group”を「同好会」と意識した異訳語を良く使います。



小林 Vice-Chair

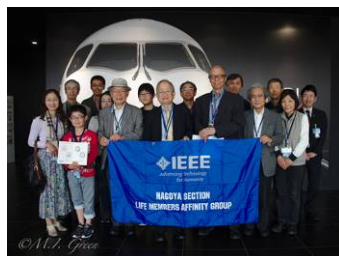
では、ここで、LMAG において同好の対象としているのは何でしょうか？それは、突き詰めるとライフ会員としての恩恵を追求することあり、目指すところは、恩恵に与<sup>あずか</sup>ることと、恩恵を与<sup>あた</sup>えることの両方にあるといえるでしょう。前者の例としては、LMAG サロンでの仲間内の同窓会的相互交流や、現地講演会等での知的好奇心の充足等が、また後者の例としては、次代を担う現役、特に若手会員の活動をライフ会員が先達として支援することなどが挙げられます。

そして、目指すところへ向かって活動を展開して行く際のキーワードとして「連携」が挙げられると思います。名古屋 LMAG が昨年度発足したことを受けて、東京、名古屋、関西の三支部間で連携する気運が高まってきましたし、これまでのワークショップ開催で図ってきた SYWL (S : Student Branches, Y :

Young Professionals AG、W : Women in Engineering AG、L : Life Members AG) の連携をさらに深めていきたいと考えています。(写真参照)



くつろいだ雰囲気の、最近開催のLMAGサロン会場風景  
〔大阪・心斎橋のライブハウスにて〕



関西LMAG代表として参加した名古屋LMAG 第1回見学会  
〔MRJミュージアムにて〕



MAW 2017 in名古屋におけるSYWLワークショップ会場風景  
〔中京大学名古屋キャンパスにて〕

LMAG のイベントには様々なものがあります。ライフ会員として、自分に合った、あるいは自分の興味をそそるイベントには、是非とも足を運んで頂き、二つの恩恵（自身が直接与<sup>あずか</sup>る恩恵と、恩恵を与<sup>あた</sup>えるという社会的貢献ができる恩恵）を体験し、享受して頂きたいと願う次第です。

## 2 2017 年活動報告

### トピックス 1 国立国会図書館関西館にて現地講演会を開催

2017 年 11 月 22 日（水）に、けいはんなにある関西館にて第 12 回現地講演会を開催しました。片山館長のご挨拶、地下の書庫を含む施設の見学の後、本田係長から電子情報の長期保存に向けた取り組みについて講演いただきました。

事後の懇親会では、名古屋 LMAG から講演会に遠路参加いただいた市川 Chair を交えて、関西+名古屋連携の姿などを語る機会を持ちました。





## トピックス 2 関西支部の技術講演会が第 100 回に到達

2017年12月16日(土)には、関西支部の第100回技術講演会が開催されました。中村 LMAG Vice-Chair による長尾先生の経歴ご紹介の後に、京都大学名誉教授で「人工知能と人間」(岩波新書)など多くの著作で有名な、自然言語処理・画像処理・パターン認識の分野の世界的権威である長尾真先生に、人工知能のたどってきた道と私 **History of Artificial Intelligence and My Research** とのテーマで講演いただきました。

1999年11月19日(金)に第一回技術講演会が開催されてから、18年で記念すべき第100回に到達しました。関西支部の web の活動/講演会に過去の講演会が列挙されています。一度ご覧ください。

<https://www.ieee-jp.org/section/kansai/activity/lecture.html>

## その他一般的な活動報告 (総会資料よりの抜粋)

活動5年目として LMAG 活動を活性化させるべく、2回の現地講演会&見学会を技術講演会の一環として関西支部 TPC (組織フルネームは後述)と共催しました。6/22 京都大学防災研究所、11/22 国立国会図書館関西館、以上のそれぞれにおいて、LMAG が主体となった現地講演会を開催しました。11/22の現地講演会には、名古屋 LMAG から参加いただき、今後の連携イベントの礎を築くことができました。各講演会の後には、有志による懇親会を開催し、今後の進め方や教育のありかたなどを論議し、メンバーの親睦を深めました。これらにより現地講演会というスタイルがいっそう定着しました。

また、役員会は2017年度には6回開催しました。第一回(3/31)、第二回(4/27)、第三回(8/10)、第四回(8/30)において、今後の進め方と運営内容、LMAG サロンについて議論しました。第五回は11/20に淀屋橋住友ビルにおいて開催し、今年の活動のまとめと来年の活動の具体化と分担の確認について議

論しました。第六回は 12/22 に大阪市中津にて、来年度のさらなる活動具体化について案を出し合いました。結果、2018 年度の実施計画が策定でき、交渉と調整を開始しました。

2016 年に新たな活動として開始した気さくな LMAG サロンの継続を行っています。5/19 に京都コンピュータ学院において、元関西支部長・京大総長・理化学研究所理事長の松本紘先生による講演をお聞きし、高等教育の在り方などへの問題提起をいただきました。他組織との連携も密になってきました。8 月の名古屋 MAW、10 月の SB 英語プレゼン大会にも LMAG メンバーが審査員として参加し、今後の運営に関しても、アドバイスや意見を述べました。また 9 月には、初めての試みとして SB が主催するブレインストーミングの講習および実践イベントに参加し、講師の派遣や議論への参加などの協力を行いました。

6 月と 11 月に従来よりも写真や顔写真を増やしてより見やすくしました。「Kansai-LMAG Newsletter」を発行し、ホームページに掲載するとともに電子メールにて案内しました。

#### 組織名や活動の略称とフルネーム

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| MAW | Metropolitan Area Workshop  |
| SB  | Student Branch              |
| TPC | Technical Program Committee |
| WIE | Women In Engineering        |
| YP  | Young Professional          |

### 3 2018 年活動計画と活動中間状況

活動 6 年目として、活動をより活発化させていきます。2017 年と同様に関西支部 TPC、WIE などと連携して数回の講演会（現地講演会も含む）を開催します。すでに 3 件の具体的な企画が進行中です。LMAG サロンの活動を定着させることも大きな目標です。2018 年にはより気さくなサロン形式を目指します。また、M3G (Multi-Generation, Gender and Genre)を活動指針として、YP や SB,WIE との連携を積極的に進めていきます。具体的には、連携先の諸活動に経験豊かな LMAG メンバーも参加して、時には LMAG 賞の授与をするなど、幅広い視点から IEEE 関西の活動を支援します。これらの活動を「Kansai-LMAG Newsletter」として公開し、広く参加を呼び掛けます。

現在までにすでに、現地講演会 2 回、LMAG サロン 1 回を開催済です。それらを以下に記します。

パナソニック(株)にて第13回現地講演会を開催しました。

2018年3月26日(月)にテクニクス感性価値創造への挑戦 ～技術と心をつなぐ～ とのテーマでパナソニック小川理子執行役員によるテクニクスブランド復活の講演をしていただきました。講演会はWIE連携で開催しました。

併せて、創業100周年を記念して今年3月7日にopenしたばかりの松下幸之助歴史館とものづくりイズム館を見学しました。歴史館では松下幸之助の経営理念や事業展開がわかりやすく展示されていました。ものづくりイズム館では二股ソケットやラジオから始まり、数多くのなつかしい製品群がところ狭しと展示されていました。



ハーモニカ、ドラム演奏のLMAGサロンを開催しました。

4月21日には、第3回のLMAGサロンを開催しました。今回はぐっと趣向を変えて、心齋橋のライブハウスARTCLUBをお借りして、奥村先生の“科学技術から音楽へ 大学退官後の新たなチャレンジ”と題して、ドラムとブルースハーモニカの演奏と講演を、一同でワイワイと楽しく聞きました。

退官後始められたとは思えない楽器演奏の腕前もさることながら、演奏の合間に、ここ150年で西洋音楽が日本の大衆音楽に与えた影響に関する独自の論を分かり易くご紹介頂き、和やかさの中にも学会らしい格調高い雰囲気

のサロンを開催することができました。

(写真は1項の小林 ViceChair の寄稿の写真を参照ください。)

### 京都高度技術研究所 ASTEM での現地技術講演会を開催しました。

2018年5月14日(月)、京都大学の土佐先生に、“カルチュラルコンピューティングからアートイノベーションへ”というテーマで講演いただきました。

土佐教授が長年にわたって取り組んでこられたアートとテクノロジーの関りについて、多くのきれいな映像を交えて分かり易く解説して頂きました。

いかにして現在の最先端技術で芸術文化を扱えるようにするか、それによって芸術で社会に新しい価値創造(アートイノベーション)をもたらしたいとの思いのもと、インタラクティブ CG や突っ込み漫才の開発から、最近取り組まれている高速度カメラによる自然現象の映像表現を通じ、アートに対する世界の感性の違いや取り組み内容について熱演いただきました。特にドライアイスと染料の織り成す高速度カメラ映像は、とりわけきれいでなにやら幻想的でした。



講演されている土佐尚子教授



講演会場で記念撮影

### 今後の企画

次の現地技術講演会を9月に予定しています。ご予約に入れておいていただき、積極的なご参加のほどよろしくお願いいたします。

## 4 IEEE 関西支部の現況

2017年11月末日時点の会員数は、2,178名で若干減少傾向です。関西支部傘下の Chapter は 13 Chapters、Student Branch は 7 SBs となっています。

関西支部ゆかりのマイルストーンは、関西電力(株)の蹴上発電所を含めて、計8件となっています。

関西支部ホームページにも、現況をはじめ多くの情報が掲載されています。  
(<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/>) ”IEEE 関西支部 “で検索していただいてもすぐに見つかりますので一度ご覧下さい。

### 会員リニューアル手続きをお忘れなく

LMの皆さんの会費は無料ですが、RENEW処理は会員資格継続のために不可欠です！手続きを怠ると会員資格がなくなりますのでご注意ください。

まだ手続きがお済みでない方は、2018年の会員サービス及び刊行物の継続利用の手続きをお願いいたします。この手続きは、[www.ieee.org/renew](http://www.ieee.org/renew) にアクセスして行うか、本部より郵送された LM 更新手続きの用紙で行うことができます。また、IEEE Life Members Fund へのご寄付の検討も併せてよろしくお願いいたします。年間30万USドル以上の Life Members Fund 慈善支援は、各教育レベルにおいて工学・科学・数学への興味を増進させる活動や、電気・情報技術の歴史を残す活動、そして IEEE ライフ会員の膨大な経験の活用などの目的に使用されています。

### 編集後記 関西支部LMAG事務局より

LMAG事務局の平野です。2013年以降継続して今季も事務局を務めさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。

今年も気さくな LMAG サロンを活発に企画開催し、皆様と数多くお会いしたいと考えております。現地講演会の訪問先も種々考えてまいります。

皆様からの現地講演会の訪問先やイベントのご提案等は、私の学会メールアドレス [k-hirano@ieee.org](mailto:k-hirano@ieee.org) までお送りいただけますと幸いです。



事務局 平野



補佐 杉本



**IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group**  
**Newsletter 2018 年 5 月 発行第 11 号**  
**発行 : IEEE 関西支部 Life Members Affinity Group**  
**E-Mail: [lmag-kansai@ieee-jp.org](mailto:lmag-kansai@ieee-jp.org)**